

Gigamon のディープ・オブザーバビリティ（高度な可観測性）パイプラインは、電力消費と炭素排出を劇的に削減し、世界中の顧客の大幅なコスト効率化を実現します

Gigamon へ投資する 1 ワット (Watt) ごとに、企業・組織はネットワークのデータ処理を大幅に削減することで、ツールの効率を最大 11 ワット以上節約できます¹。

2023 年 7 月 25 日 (火) – ディープ・オブザーバビリティ（高度な可観測性）のリーディング・カンパニーである Gigamon は、クラウド、セキュリティ、オブザーバビリティ（可観測性）ツールの消費電力、二酸化炭素排出量、エネルギー・コストを、5 年間で最大 87%削減することを可能にする自社の能力に関する洞察を発表しました²。Gigamon は、既存のツール・インフラを最大限に活用するためのお客様の努力をさらに支援するため、エネルギー削減の機会を個別評価されたいお客様のために、ネットワーク効率評価チームと Gigamon コスト削減計算ツール（Gigamon Cost Savings Calculator）に続き、無償のエネルギー削減を計算するサービス（Gigamon Energy Savings Calculator）を開始しました。

データセンターと伝送ネットワークは、世界の電力使用量の 2~3 パーセントを占め、年間約 3 億トンの二酸化炭素（CO₂）相当量を排出しています。世界のデータセンター業界にとって、サステナビリティ（持続可能性）はもはや「あればよいもの」ではありません。多くの企業・組織が、データセンターをはじめとして、二酸化炭素排出量削減に取り組んでいます。実際、すでに数十社のテクノロジー企業が、2030 年までのカーボンニュートラル達成計画を開始済み、または達成する計画を立てています。

レイモンド・ジェームス・アンド・アソシエイツのデータ・インフラストラクチャー・エクイティ・リサーチ担当マネージング・ディレクターであるサイモン・レオポルド氏は、次のように述べています。

「IT リーダーは、物理的なエネルギー効率にとどまらず、ハイブリッド・インフラストラクチャー内およびインフラストラクチャー全体のアーキテクチャー・レベルでの効率化を実現する方法を積極的に模索しなければなりません。Gigamon は、より効率的に稼働できるよう支援することで、顧客はエネルギー使用量を削減し、コスト削減と二酸化炭素排出量削減の目標を達成する事ができます。Gigamon のディープ・オブザーバビリティ・パイプラインは、企業が収益を向上させながら環境に配慮する必要性に対処することを実現するソリューションの好例です。」

Gigamon エネルギー削減計算ツール（Gigamon Energy Savings Calculator）は、既存のハイブリッド・クラウド・インフラのパラメータ（ツールに送信されるネットワークトラフィック量やネットワークトラフィックの年間増加率など）を入力することで、エネルギー効率が達成可能なポイントを確認することができます。この情報を入力することで、IT チームは組織のネットワーク環境とツールに固有の、コストと二酸化炭素排出の削減量を計算することができます。

「IT リーダーがより持続可能な運用にシフトしつつ、私たち全員がカーボンニュートラルに向けて推進する役割を果たすうえで、データセンターの電力消費量と二酸化炭素排出量の削減は、共通の責任です」と、Gigamon のマイケル・ディックマン最高製品責任者（CPO）は述べています。「これは非常に大変な事業であり、顧客が大幅なコスト削減を実現するだけでなく、より環境に優しいビジネス運営に参画できるよう支援できることを私たちは非常に誇りに思っています。これは最終的に私たち全員にとっての利益になります。」

Gigamon ディープ・オブザーバビリティ・パイプラインは、アプリケーション・フィルタリング、重複排除、アプリケーション・メタデータ、フロー・マッピングやスライシングの組み合わせを活用することで、分析ツールに送信するネットワークトラフィック量を劇的に削減できます。実際、ディープ・オブザーバビリティ・パイプラインを活用する企業・組織は、特定の複雑なツールのトラフィックを 95% 削減しています。また、全てのトラフィックを可視化する必要があるその他ツールでは、フィルタリングを適度に活用することで、トラフィックを 25 パーセント削減できます³。

1-3 データセンターの二酸化炭素削減の価値に関する詳細は、Gigamon ブログまたはホワイトペーパー「Beyond the Physical Plant, Reduce Energy Usage Before it Begins」をご覧ください。

<https://www.gigamon.com/content/dam/resource-library/english/white-paper/wp-beyond-the-plant-energy-savings.pdf>

お客様のツールの省エネルギーまたはコスト削減モデルに関してご興味を持たれている場合は、Gigamon ネットワーク効率化評価チーム（NEAT@Gigamon.com）までご連絡ください。

*同計算ツールは、消費電力量（kWh）、二酸化炭素排出量（CO₂e）、光熱費（USD）をモデル化しています。kWh から CO₂e への換算にはデフォルト値が提供されていますが、既知の CO₂e 比率を入力して、エネルギー使用量とコストをカスタマイズすることもできます。

【Gigamon について】

Gigamon Inc. は、実用的なネットワークレベルのインテリジェンスを活用し、Observability（可観測性）ツールの機能を強化した Deep Observability（高度な可観測性）を提供しています。この高度な連携により、IT 組織はセキュリティとコンプライアンスのガバナンスを保証し、パフォーマンスのボトルネックの根本原因の分析を迅速化し、ハイブリッドおよびマルチクラウド IT インフラの管理に関連する運用負荷を大幅に削減することができます。全世界で販売パートナーおよびサードパーティを通じて、4,200 社以上の企業へ、物理、仮想、クラウドネットワーク向けに可視化基盤ソリューションを提供しています。米国連邦政府機関のトップ 10 すべて、グローバル銀行トップ 10 の 7 行、Fortune100 企業の 83 社、モバイルネットワーク通信事業者トップ 10 の 9 社、テクノロジー企業トップ 10 の 8 社、医療関連プロバイダトップ 10 の 8 社に導入されています。Gigamon のミッションは、中堅・中小企業や分散拠点を持つ大企業や組織で、効率的運用かつ高 ROI のセキュリティ、監視システム環境を実現することです。本社を米国カリフォルニア州サンタクララに置き、世界 20 か国にオフィスを展開しています。さらなる詳細情報、プロモーション活動、最新動向は <https://www.gigamon.com/jp/> をご覧下さい。

Gigamon とそのロゴは、米国と他の各国における Gigamon の商標です。

Gigamon の商標の一覧は、www.gigamon.com/legal-trademarks に掲載されています。他の商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。

【本プレスリリースに関するお問合せ】

Gigamon Inc.

〒105-0022

東京都港区海岸 1-2-20 汐留ビルディング 3F

Sales 担当

Tel:03-6721-8349

Email : sales-japan@gigamon.com

URL : <https://www.gigamon.com/jp/>